

開館15周年記念

# EPISODE XV

エピソード15

～コレクションの軌跡～展

2014年 7月5<sup>①</sup>日 ▶ 11月30<sup>②</sup>日



サルバドール・ダリの作品との出会いから、  
コレクション形成、諸橋近代美術館の設立へ—。  
シュルレアリスムへの関心と情熱に彩られた、  
15年の軌跡。

展覧会の見どころコラム①

## 「作品の海外輸送」

展覧会に出品される作品の多くは、長い旅路を経て美術館へ辿り着きます。持ち主のもとから美術館へ運び込まれるまでの道中で、作品を負荷や衝撃から保護する役割を果たすのが、「クレート」と呼ばれる作品専用の輸送箱です。「Episode15～コレクションの軌跡～展」では、イギリス、カナダ、そしてアメリカで展示されたルノワール作品《パリ郊外、セーヌ河の洗濯船》とそのクレートをご紹介します。国外貸し出し作品の輸送ルーツを通して、美術館の裏側を覗いてみましょう。